

令和2年度 厚木北高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
①法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規律の徹底）	○法令をはじめ社会規範ルールを守り、教員全体の不名誉となる行為は行わない。	○教育公務員の立場を常に自覚して職責を果たすよう、職員会議などで具体的な事例研究をするなど研修を計画的に実施し、プロ意識の強化を図った。 ○「教員コンプライアンスマニュアル」を事故防止会議などで活用し、コンプライアンスの意識を高めた。
②職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	○ハラスメントを防止し、職員がその能力を十分に発揮できるような良好な勤務環境を整える。	○校長の教職員に対する個別面談、ハラスメント防止に係る職員研修、リーフレットの配付、教職員のアンケートの実施、ハラスメントの相談窓口の周知などにより、職場でのハラスメントを防止した。
③生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	○生徒との不適切な関係、立場を利用した不適切な行為（わいせつ行為）、生徒等を傷つけるような性的言動（セクシュアル・ハラスメント）等を絶対に行わない。	○生徒とのSNS等利用の禁止、生徒の連絡先の適正な取得・管理、教科準備室等の適切な利用、生徒のセクハラに対する意識の啓発、相談体制の周知をするなど生徒に対するわいせつ・セクハラ行為を防止した。 ○アンケートを実施し、セクハラの実態を把握し、不祥事防止に努めた。
④体罰、不適切な指導の防止	○体罰、暴言等の不適切な行為は決して許さない学校風土をつくる。	○管理職による校内巡視、複数の教員間で相互チェックが働く体制を整備、生徒へ校内における相談窓口の周知、「体罰防止ガイドライン」を活用、校内研修を実施し、教職員の人権感覚の醸成に努めた。
⑤入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	○各業務に関するマニュアル等を厳守した適切な事務処理を行う。 ○相互チェック機能を強化する。	○入選各業務を複数チェック体制で遂行し、点検・確認しながら実施し、事故を防止した。 ○試験期間中のシュレーダーの使用を中止するなど答案用紙の誤廃棄を防止した。 ○成績処理、進路書類に係るマニュアル、チェックシートを整備し、事故を防止した。
⑥個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	○生徒に係る個人情報を扱う際のルールを厳守する。 ○情報資産の機密性、完全性及び可用性を維持する。	○教務手帳を指定ロッカーに保管し、事故を防止した。 ○個人情報持ち出しルールを徹底し、事故を防止した。 ○貸出し用USBメモリの棚卸しを定期的に行い、管理をした。 ○県情報セキュリティポリシーに基づき、セキュリティ対策を推進した。
⑦交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	○交通法規の遵守に努めるとともに、交通違反や交通事故を防止する。 ○酒酔い、酒気帯び運転を防止する。	○啓発資料を活用した研修を行い、職員の意識を高めるよう、組織的に取り組み、事故を防止した。 ○「交通事故防止」「飲酒運転は同乗者も免職」等の注意喚起を図り、事故を防止した。

⑧業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	○書類の整理・保管を徹底する。 ○危機管理意識の徹底と不祥事防止を図る。 ○適正な業務遂行環境を確立する。	○起案・決裁等を確実にし、決裁済みの書類はキャビネットに適切に保管するなど書類管理を徹底した。 ○事故防止会議などで事案研究を実施し、危機管理意識を喚起した。 ○業務遂行状況を点検し、業務分担を見直すなど適正化を図った。
⑨財務 事務等の適正執行	○備品管理の適正化を推進する。 ○不適正経理、不適切な現金取扱を防止する。	○備品の現物照合を実施し、管理の徹底を図った。 ○複数チェック体制で会計事務を実施し、適正に業務を遂行した。 ○私費会計基準に則った会計処理の徹底を図り、事故を防止した。
⑩部活動指導の点検	○部活動の目的や活動の意義を再確認し、安全に配慮した活動を行う。	○部活動総点検を定期的に設定し、生徒用点検表、顧問・指導者用点検表を用いて、望ましい環境で活動ができているよう支援をした。

○ 令和2年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和3年度に取り組むべき課題

(学校長意見)

- ・風通しがよく、職員間のコミュニケーションがとれており、ストレスの低い職場となっている。
ハラスメント防止に向け、取り組みを継続する。
- ・不適切な指導に対する職員の意識に課題があり、全職場の人権感覚を高めるための研修を充実させる。
- ・進路指導における不適切な事案があった。複数チェック体制を整備し事故を防止する。
- ・成績処理、入学者選抜業務における事故防止の取り組みにより、事故を防ぐことができた。今後も複数チェックなどを継続して実施する。
- ・交通安全の意識を高める取り組みを今後も継続する。
- ・書類管理、財務事務に関する業務執行体制がよく機能しており、事故を防止した。今後も継続をする。